

<b>学校名</b>	<b>佐賀県立佐賀工業高等学校 定時制課程</b>
<b>1 前年度 評価結果の概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの時間」の取組で、学びの基礎診断の結果から多くの生徒が昨年度より学力が向上しており、自主的に学習に取り組む姿勢が身に付いてきていることが分かった。</li> <li>・「いじめ問題への対応」については、成長過程でいじめは起こるものという認識のもと、いじめの未然防止、早期発見、早期発見に努める。</li> <li>・給食アンケート結果から、健康について考えながら食事をとることの重要性を伝えることできた。今後も、食べやすい雰囲気を作り、健康教育の充実に取り組む。</li> <li>・学校紹介パンフレットの工夫、高校説明会、中学校訪問等を通じて、魅力発信を行うことで、学校見学者や志願者増に繋げることができた。</li> </ul>

<b>2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標</b>	中部地区唯一の工業科を持つ定時制高校として、地域及び日本の産業界を牽引し、高い倫理観をもって、人々が暮らしやすい社会を創造できる工業技術者を育成する。
--------------------------------	---

	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
<b>3 スクール・ポリシー</b>	1 仕事と学業の両立を目指し、高校を卒業したいという強い気持ちを持つ生徒 2 就職または進学を目標とし、意欲的に学習に取り組む生徒 3 ものづくりに興味・関心を持ち、資格取得に意欲的に取り組む生徒 4 まわりの人と力を合わせて部活動・学校行事等に取り組む協調性のある生徒	1 少人数でのきめ細やかな指導により、一人一人を尊重し、安心して取り組める授業を実施します。 2 基本事項・基礎学力の定着と専門分野の基礎的な技術と先端技術の関連などを体験します。 3 アルバイトや社会活動を推奨し、学校外での活動を通じ、社会人としての基礎力の養成に努めます。	1 ものづくりに積極的に挑む態度、地域・社会に貢献できる技能・技術を育成します。 2 基本的な生活習慣、社会で通用する基礎学力、気力・体力を育成します。 3 社会的・職業的自立に向けた勤労観や職業観を育成します。 4 多様性を受け入れ、人権感覚を持った豊かな心を育成します。

<b>4 本年度の重点目標</b>	～“ものづくり”から“者(ひと)づくり”そして“未来(あす)づくり”～ a 新たな課題への着実な対応 b 深い生徒理解に基づく指導 c 規律ある高校生活の実現 d ものづくり教育の推進
-------------------	--

**5 重点取組内容・成果指標**

(1)共通評価項目			
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組
●学力の向上	○わかる授業の実践と学習意欲の向上	○普通教科における基礎的な学力を育成し、学びの基礎診断における国・数の平均50点以上。	・学びの基礎診断を利用し、生徒の学力を把握し、個々の学力に応じた基礎的な内容の学習を取り入れる。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○人権感覚を持った豊かな心を育成する。 ○相手を思いやり、命の尊さを再認識したと回答した生徒85%以上 ○学校生活アンケート等を年間6回実施し、「未然防止」「早期発見」に努めるとともに、全覚知事項の「早期対応」を100%行う。 ○いじめを「しない」「させない」「ゆるさない」心を育成する全体指導を年4回、ホームルーム指導を随時行う。	・ホームルーム活動において人権教育、情報モラル教育を実施する。 ・エイズ予防講話、性に関する指導講話を実施し、命の安全教育の内容を盛り込む。 ・5月及び6月以降の偶数月にアンケート調査を行う。 ・生徒指導担当職員による登校指導等を行う。 ・いじめの覚知と認知に係る情報を全職員で共有する。 ・全校集会・ホームルーム活動・面談等で、心を育成する教育を推進する。
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ●「健康を考えて行動できる能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」と回答した生徒80%以上 ○給食喫食率90%以上を目指す。 ○感染症、食中毒等を防ぐための自己管理能力を育成し、「手洗いは大切である」と答える生徒100%を目指す。	・食育講話を実施。食に対する重要性を説き、喫食を促す。 ・給食アンケートを2回実施する。 ・グリッターバッグを使った手洗い指導を実施(1年生対象)する。 ・「自分の血圧を知らない高校生ZERO事業」に参加して、自分の健康状態について考える。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・学校行事の精選に努めるとともに、校内の諸会議を勤務時間内設定しかつ時間短縮を図る。また、業務の適正化を図り、時間外勤務の削減を図る。 ・年次休暇の積極的取得を推奨し、教職員の心身の健康増進に務める。
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の意識の向上	○生徒それぞれの個性を受け入れ、社会に出る前の準備期間として、支援・見守りを行う。	・特別支援教育に関する研修会を実施する。 ・ケース会議の開催、関係者間での情報共有を行う。 ・月1回の職員会議で、教員が情報を提供し、全体で組織的に対応する。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組
○進路実現と規律ある高校生活	○進路実現 生徒が希望する進路を実現させる ○規律ある高校生活の実現	○就職内定率、進学内定率ともに100%を目指す ○進路意識の高揚と職業観・勤労観の育成と定着。生徒アンケートで肯定的評価80%以上を目指す ○学校生活やアルバイトを通して場に応じた容儀・言動を心がけた生徒を80%以上にする。	・生徒の能力・適性・希望に合った進路先の情報提供と適切な指導助言に努める。 ・在学中の就業率向上と職業講話などを通して職業観・勤労観の育成と定着を図る。 ・積極的にアルバイトや社会活動を推奨する。 ・「考える」ことの意義を、全体で年5回、その他クラス・個別のガイダンスで促す機会をつくる。
★ものづくり教育の推進	★ものづくりに対する興味関心の醸成 ○進路意識の向上と合わせて、資格検定試験へ挑戦する生徒及び合格者を増やし、ジュニアマイスター取得者を増加させる。 ○実生活に関する内容を普段の授業や実習に取り組み、興味関心を高める。	○実生活に関する内容や、進路目標に関する意識づけとして、資格取得に取り組む。各種資格取得で、次の目標を達成する。 ・計算技術検定合格率80%以上 ・パソコン利用技術検定合格率80%以上 ・基礎製図検定80%以上 ・機械製図検定60%以上 ・危険物取扱者試験合格率50%以上 ・第2種電気工事士合格率100%	・個々の能力に応じた、きめ細やかな指導により、生徒の個性・能力・特技の伸長を図る。 ・始業前、放課後の補習を実施し、資格取得に対するチャレンジマインドと進路意識の向上を図る。
○開かれた学校づくりの推進	○魅力ある情報の発信 ○志願者、保護者の学校理解の推進	○学校HPの充実と月1回以上の更新を行う。 ○保護者向けの案内文書をデータでも発信する。 ○高校説明会・学校見学者等を通じて工業高校への理解や連携を深める。	・各分掌・学年と連携し、学校HPやeメッセージで掲載や配信をその都度行うようにする。 ・学校見学者は可能な限り受け入れ、高校進学説明会等に積極的に参加し魅力を発信する。